

2023年度 市立函館高等学校 シラバス

教科	科目	単位数	年次・コース	教科担任			
国語	現代の国語	2	1年次	三鹿裕明・高橋衣津美			
選択するときの条件	1年次に全員共通履修						
使用教科書	(数研出版) 高等学校 現代の国語		使用副教材	(数研出版) 「高等学校 現代の国語準拠ノート」 (数研出版) 「プレミアムカラー国語便覧」			
科目の目標			道徳教育のねらい				
言葉による見方・考え方を働かせ、言語活動を通して、国語で的確に理解し効果的に表現する能力を育成することを目指す。			人間と人間との関係の中で、互いの立場や考え方を尊重し合えるような、道徳的心情や道徳的判断力を養う。				
学習活動内容		育てたい6つの力 (資質・能力)					
		1	2	3	4	5	6
		主体的 学習力	基礎力	思考・ 分析力	発信・ 表現力	自己認知 ・協働力	計画 実行力
1	読解と論述			◎		○	
2	実用の文章	○	◎	○			○
3	思考力			◎		○	
4	表現力	○		○	◎		
5							
6							
7							
8							
9							
10							
11							
12							
13							
14							
15							
16							
17							
18							
評価の観点	知識・技能	思考 判断 表現		主体的に学ぶ態度			
	生涯にわたる社会生活に必要な国語の知識や技能を身に付けるとともに、我が国の言語文化に対する理解を深めることができるようにする。	論理的に考える力や深く共感したり豊かに想像したりする力を伸ばし、他者との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げたり深めたりすることができるようにする。		言葉が持つ価値への認識を深めるとともに、生涯にわたって読書に親しみ自己を向上させ、我が国の言語文化の担い手としての自覚をもち、言葉を通して他者や社会に関わろうとする態度を養う。			
評価の方法	次の3観点において、各資料をもとに総合的に評価し、5段階の評定をする。また、各観点については、到達度により総合的に評価し、A・B・Cの3段階で評価する。定期考査では「知識技能」を、授業・課題への取組および提出物により「思考・判断・表現」「主体的に学ぶ態度」を評価します。						
	A: 目標に対する到達度が70%~100%		B: 目標に対する到達度が45%~69%		C: 目標に対する到達度が0%~44%		
	教科・科目における各観点	授業での取組	課題への取組	提出物	考査		
	知識・技能	○	○		◎		
	思考・判断・表現	○	○	◎			
主体的に学ぶ態度	◎	◎	○				

現代の国語 授業計画

授 業 計 画					実施状況		
月 (時数)	単元・考査等 (配当時数)	学習のねらい	学習内容 (配当時間)	単元 実施 時数	実施反省		
前 期	4 (5)	・オリエンテーション (1)	国語の学びの目的と学習の概要を理解する。	授業についてのガイダンス (1)	1		
	5 (6)	・論理的ということ (5)	話すことと聞くことに関わりを理解する。	論理的表現をつかむ (5)	5		
	6 (6)	・水の東西 (5)	対比構造を理解することができる。	論理的思考を養う (3)	3		
			筆者の考えを踏まえ、自分の考えをまとめることができる。	内容を踏まえ自己の考えをまとめる (2)	2		
	前期中間考査 (1)				1		
	7 (6)	・「大人」になるための条件 (3)	作者の考え方を捉える。	論理的表現の展開を理解する (3)	3		
		・「わらしべ長者」の経済学 (5)	作者の考え方を捉える。	論理的表現をつかみ作者の考えをまとめる (5)	5		
	8 (6)	・コインは円形か (5)	作者の考え方を捉える。	論理的表現をつかみ作者の考えをまとめる (5)	5		
		・実用の文章 (4)	表現を学習し自分の考えをまとめる	内容を踏まえ自己の考えをまとめる (2)	2		
				自己表現力を養う (2)	2		
前期期末考査 (1)				1			
後 期	10 (8)	・コミュニケーション (3)	表現を学習し自分の考えをまとめる	図や表の表現を学習する (3)	3		
		・ものとことば (5)	作者の考え方を捉える。	具体例に注目しながら論理を学ぶ (5)	5		
	11 (8)	・人と自然の共生とはどういうことか (5)	作者の考え方を捉える。	具体と抽象の表現を学ぶ (5)	5		
		・科学コミュニケーション (5)	作者の考えを捉え視野を広げる	作者の論理を自らの考えと考察する (5)	5		
	12 (7)	後期中間考査 (1)				1	
		・他者を理解するということ (4)	作者の考えを捉え視野を広げる	論理的表現をつかみ作者の考えをまとめる (4)	4		
		・時間と自由の関係について (4)	作者の考えを捉え自らの思考を深める (4)	論理的表現をつかみ作者の考えをまとめる (4)	4		
		・時を編む人間 (3)	作者の考えを捉え自らの思考を深める	論理的表現をつかみ作者の考えをまとめる (3)	3		
	1 (7)	・話し言葉の技術 (2)	表現を学習し自分の考えをまとめる	自己表現力を高める (2)	2		
		・書き言葉の技術 (3)	表現を学習し自分の考えをまとめる	文章力を高める (3)	3		
後期期末考査 (1)				1			
2 (5)	・課題を発見し解決策を発表 (4)	表現を学習し自分の考えをまとめる	自己表現力を高める (4)	4			
3 (4)							